

<第273回例会>

❀❀❀ 渋川・二ヶ領用水の桜散策 ❀❀❀

日時:2021年4月4日(日) 天候:曇り一時晴れ 17000歩 約11km

集合:東急東横線元住吉駅 9時45分 10時出発

コース:元住吉駅→住吉神社→中原平和公園・平和館→渋川→二ヶ領用水→今井緑道→泉澤寺→等々力緑地
→春日神社・常楽寺→二ヶ領用水八ツ目土→第三京浜下→坂戸緑道(旧流路跡)→JR武蔵溝ノ口駅

参加者:小島(L) 熊島(SL) 奥村(SL)

佐藤伊 勅使河原 吉越 平嶋 小作 神谷 熊坂 高橋文 青松 奈良 佐藤繁 小林 河野 山内 宮野 伊藤
栗田 市村 桑原 桑名 高山 高橋友 吉岡 灘波 望月 荒井 篠 高橋吉 加納 計32名

昭和の時代、美樹克彦の「♪花はおそかった」が流行ったものですが、今年の桜は逆に“花ははやかった”！(早すぎ) 残念ながら用水沿いのソメイヨシノはすでに葉桜となっていました、代わりに八重桜、花桃、ハナミズキらが目を楽しませてくれました。古来より女心と花の開花時期を読むのは、令和の世になった今も確かに難しいことを“痛感”した次第です！

2021年を迎えたものの、新型コロナによる緊急事態宣言により1~3月までの例会が中止となりましたが、3月21日に宣言が解除されたことで、この日の桜散策が本年初の例会となったこともあり、多くの参加者を得て賑やかな例会になりました。

どなたかの「コロナに打ち勝った証」よりお先に、KWCではすでに“証”が得られたような笑顔の絶えない一日でした。

<フォトレポート 小島>



<二ヶ領用水にて満開の八重桜の下で全員集合。誰ですか“花より団子”と言っているのは？>

※二ヶ領用水:家康の命で小泉次大夫により14年をかけて完成、稲毛・川崎領の二つの地域を潤した県内最古の人口水路。



ゴミ一つ落ちていない綺麗な元住吉駅改札前。



その前にはガラス張りで見晴らしの良いテラスデッキがある。



まずは駅近くの住吉神社境内で熊坂さんのストレッチ。



新年度を迎えて吉越会長から現況報告等があった。



さあ出発。朝から暖かく上着が無くても快適なほど。



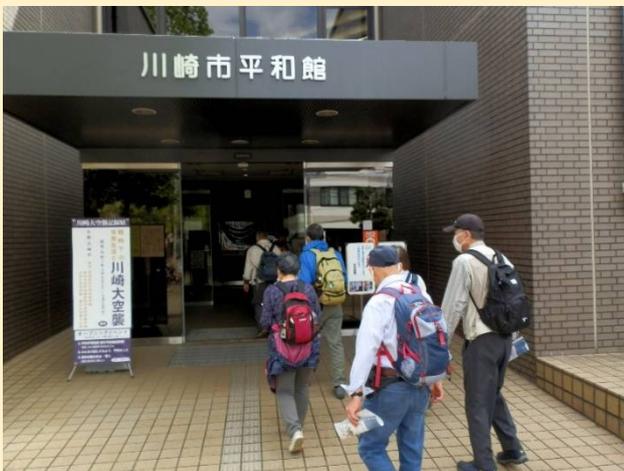
新緑の木々が迎えてくれた中原平和公園に入る。

※今回の例会はコロナ感染予防の点から、参加者を5人前後のグループに分け計6班編成として、1班から順にスタートすることとし、歩行中は各班の間隔を開け大声での会話は禁止、全員常にマスク着用を徹底しました。昨年開催のウォークでは、マスクを外して歩く人も見受けられましたが、さすがに今回は最後までマスクを外した人は皆無でした。

感染がまた再拡大している中、この形でのウォークが定着すれば、皆さんの安心・安全につながるのではないのでしょうか。



＜昼から雨予報が出ているので平和公園で早めに集合写真を撮った。背景は武蔵小杉の高層マンション群＞



公園の一角にある川崎市平和館を見学。



特設会場で「川崎大空襲展」が開催されていた。



工業都市川崎の空襲の様態を写真パネルと各種資料等で見る事が出来た。



二階に横田めぐみさんのコーナーも。



ここからは本日のメインルート、渋川の桜散策となるも・・・



ただソメイヨシノはすでに葉桜となり寂しい限り。



花は散っても楽しみ方は色々。世間話に花を咲かせるもよし、黙々と人生に思いめぐらせながら歩くもまたよし・・・



用水浴いの水面には花筏、上の車道傍には散った桜の花びらが手ですくえるほど残っていた。



ここは八重桜が満開。スマホ片手に撮る人も。



3月下旬の渋川。ソメイヨシノが満開で多くの人出があった。



合流点を過ぎここからは二ヶ領用水沿いを歩く。



この白い桜は？ ソメイヨシノか大島桜か・・・



八重桜の下で集合写真を撮った。



ここは八重桜の並木になっている。



サツキが咲く今井上町緑道。



武蔵吉良家の菩提寺でもある泉澤寺で休憩。



江戸時代には門前の中原街道に市がたった。



タコのような枝ぶりの保存木。



その余裕のVサインは何？



境内には“坐禅僧”が…修行中？



本日2本目の歩道橋を上る。バックは泉澤寺。



下道組は余裕の表情。全員こちらの方が良かった？



ランチ場所の等々力緑地に到着。



予報通り雨がポツポツと落ちてきた。



前方は川崎フロンターレの本拠地等々力競技場。



多摩川の旧砂利穴跡を利用した市営の釣り堀も。



競技場の大屋根の下を確保しここで昼食をとることに。雨にも当たらずゆっくり食べることが出来た。



食後は池を巡る緑地内の散策路を歩く。



食べ過ぎた人も、もの足りなかった人も・・・



春日の森に建つ春日神社。



正しい形でまずは参拝を。



隣接する常楽寺。別名漫画寺とも。



再びニヶ領用水に出て案内したのは・・・



品のある緑の桜、その名も御衣黄(ぎょいこう)



用水沿いの東屋で休憩をとる。皆さんお疲れの様子。



一度座るとなかなか立ち上がるのが億劫になる。



左右には住宅が立ち並ぶ散歩道。



白い梨の花が満開の梨園が残る。



皆さん足が辛そう。もう少しの辛抱。



これは二ヶ領用水の旧流路跡の坂戸緑道。



かつて蛇行していたのが良く分かる。



駅付近は場所がないのでここでクールダウン。



ここは枝垂れ桜の名所も殆ど散っていた。



ゴールの武蔵溝ノ口駅前に続々と到着するメンバー。

ここで大粒の雨が・・・途中傘の出番が無くて良かった！

<今日の一言>

春は出会いと別れの季節。平家物語の一節にある「生者必滅会者定離は浮世の習いにて候ふなり」とあるように、何事にも始めがあれば必ず終わりがあるという仏教の教えですが、縁あって集うクラブ会員にとっても、やがてはそれぞれの形で旅立って逝くこととなります。そういえば若い頃に、小林秀雄著「無常ということ」がブームになりましたが、難解でその内容がよく理解できませんでした。この「無常」も仏教用語で、万物は常に変化して、同じ状態は永遠には続かないという意味だそうですが、これも会者定離につながる言葉と言えます。しかし間違っても“無情”な人間だとは言われたくないものですね。

自分自身を顧みても、歳とともに体力が衰え、若かった時代には戻れないことを実感する今日この頃・・・ああ無常！

END



<番外編>

※ご参考までに先月25日前後に撮った渋川とニヶ領用水等の様子です。



渋川のソメイヨシノ。花見客がまばらな場所を撮ったので人が少ないが実際は多くの人で賑わっていた。



等々力緑地のソメイヨシノ。公園内を貫く通りの左右が桜並木となっている。



二ヶ領用水沿いは河津桜、ソメイヨシノ、大島桜、エドヒガン、カンヒザクラを主に、ハナミズキ・梅・花桃・椿との競演で、毎年のように色とりどりの花が咲き誇り、市内でも知られた憩いの散歩道となっている。



- 八重桜**：八重桜という品種は無く、多くの花びらが重なっている桜の総称。古より8という数字にはたくさんという意味があった。ソメイヨシノは江戸時代からだが、八重桜は平安時代にはすでに歌に詠まれていた。
- エドヒガンザクラ**：春の彼岸の頃に花を咲かせるのでこの名がある。多くの品種の交配親となっていてソメイヨシノの片親としても知られる。また桜の中ではかなりの長寿で大木に成長するので、各地で天然記念物に指定されている名木が多い。因みに桜の種類は多く、今では交配を重ねて350種ほどあると言われている。



今井緑道のソメイヨシノ。



青空に映えるように咲く河津桜。



二ヶ領用水も溝の口辺りではしだれ桜が多くなる。盛期には水面がピンク色に埋め尽くされる。



以上